

R6年度 学校教育目標『心豊かに 創造する』

重点目標『認め合い 高め合う仲間』



つきやま

地域とともに 151 年目
伊豆の国市立蕙山小学校
令和 7 年 1 月発行 第 9 号

今年は、巳年(乙巳)
再生・しなやかな成長・結実

「前向きに」

校長 内田 繁樹

先日、早咲きの桜のニュースがテレビで流れていました。学校の正面玄関に並んでいる河津桜の芽も大分膨らんできて、先っぽがほんのり色づいているものも見られます。春を告げる、少し濃いめのピンクの桜とやさしい青空とのコントラストが、今からたのしみです。

さて、先日、元メジャーリーガーのイチローさんが、日本の野球殿堂入りしたのに続き、メジャーリーグでの野球殿堂入りも果たしました。殿堂入りは确实視されていて、得票率が100%かどうか、注目されていました。結果は99.7%。1票足りませんでした。このことにイチローさんは、「1票足りないというのは、凄く良かった。～不完全であるというのはいいなって。」とインタビューで答えていました。その後も「生きていく上で不完全だから進もうとできる。」とも。入らなかった1票に少しの不満も持たず、むしろ、前向きなモチベーションに変え成長しつづけようとしている。プラスに捉え前向きに進もうとするイチローさんの考え方は、とても素敵で素晴らしく、少しでもまねしたいと思わされました。

1月22日(水)朝の時間に全校で「自分や友達の良いところの見つけ方」について学びました。「リフレーミング」という手法を使って考えました。これは、物事の見方や捉え方を変えて、新たな意味や価値を見出す方法です。例えば「わたし、頑固なのかな？」も見方を変えれば「意思が強い、信念がある」と長所や強みとして再解釈できます。自尊感情や自己肯定感の醸成にもつながります。友達を見るときも同様で、友達の表れをリフレーミングすることで友達のよさと捉えられることができ、よりよい人間関係づくりにもつながります。教師から見ても、子供たちを肯定的に捉えることによって、アプローチの仕方も変わってきます。

3学期になり学校では、保護者・子供たち・教職員のアンケート結果を基に令和7年度の教育計画の話し合いが始まっています。保護者や地域の願い、子供たちの良さや課題等を明らかにしながら、これからの社会を生きる子供たちがよりよく成長するためには、どんな力が必要になるのか、そのためにどんな手立てを考えていけば良いのか話し合いを重ねています。634人の蕙っ子たちは、一人一人皆違いますが、どの子も「よくなりたい」「できるようになりたい」「ほめてもらいたい」という思いを持っています。その子達を支える学校・家庭・地域が、どの子も「いいところがたくさんある」「できるようになる」というような肯定的で前向きな子供観で支えていけば、きっと、今より更に素敵な子供たち・学校・地域になっていくのではないのでしょうか。そうしていきましょう！

今年も学校の教育活動にご支援とご協力をよろしく申し上げます。



(高め合う仲間)

◇ 萐っ子の学び ～クラブ活動～ ◇

学級・学年の垣根を越え、4年生から6年生が興味のある活動ごとに集うクラブ活動は、異年齢交流の場であり、自主性や社会性を培う貴重な機会となりました。子供たちは、みんなが楽しむことができるように活動内容やめあてを話し合ったり、協力しながら仲良く活動に取り組んだりしてきました。



[卓球クラブ]



[手芸クラブ]




[将棋・オセロ・囲碁クラブ]



[一輪車クラブ]

◆◆ 2月の行事予定 ◆◆

	q	p-pb
1	Ú	
2		
3	†	
4	Æ	d \$ È# ~ a Ê a z À e#1"š"—"s
5	c	a Á 6 e
6	-	9 £ % ¯ e
7	ü	Y G ½ Ž ¥ Ê a z À e *!N!Z!6
8	Ú	
9		
10	†	
11	Æ	D ÷ ; Ú ÿ È 
12	c	
13	-	ý v • ý Ü i
14	ü	® ´ t e ~ e
15	Ú	
16		
17	†	
18	Æ	Ó Ý ù x ÿ e ! È ^ • *!B Ù +
19	c	Ó Ý ù x ÿ e
20	-	
21	ü	Y G ½ Ž ¥ % ¯ e ! 5 + ! 6
22	Ú	
23		% È t P È
24	†	ð , g È
25	Æ	m J È Q
26	c	m J È Q
27	-	m J È Q !!la!N Ò Ú % ¯ e ! 5 ñ z!6
28	ü	m J È Q

◇ 体罰、セクシュアル・ハラスメントの調査 ◇

学校教育法に、教員は、児童・生徒に体罰を加えてはならないと明記されています。本校でもいかなるときでも子供たちに肉体的苦痛を与えることは絶対にしてはいけないと全教職員が自覚し、教育活動にあたっているところです。もし、万が一お子様等から行き過ぎた指導が懸念されるような情報がありましたら、校長または、教頭までご連絡をお願いいたします。

また、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）とは、相手を不快にさせる性的な発言や行為のことをさします。下記のような状況が見られた場合は、校長または、教頭までご連絡をお願いいたします。

（例）

- ・みんなの前で、個人的な容姿や体のことを言われて、いやな気持ちになった。
- ・「女のくせに」とか、「男のくせに」など、性別で決めつけられて、いやな気持ちになった。
- ・道を歩いていた、友達と集まったりしているときに体をじろじろ見られて、いやな気持ちになった。
- ・体や頭をなでられて、いやな気持ちになった。
- ・携帯電話などを使い、いやらしい画像が、メールやラインで送られてきた。
- ・脚などを写真に撮られた。
- ・携帯電話などで、「二人きりで会ってみよう」などと誘われた。



学校ホームページには、授業や行事での児童の様子、地域の方との連携等について、日々の情報を掲載しています。各種おたよりもご覧いただけます。
(<http://nirayama-sho.izunokuni.ed.jp>) 右のQRコードもご利用いただけます。

